



Share Rotary—  
Serve People

みんなにロータリーを  
みんなに奉仕を



会長 内山喜一 幹事 齋藤 隆 副会長・クラブ奉仕 佐藤順治 職業奉仕 石川寿男 社会奉仕 佐藤 衛 国際奉仕 三井 健 青少年奉仕 小池繁治

出席報告：会員 75 名 出席 59 名 出席率 74.67 % 前回出席率 81.08 % 修正出席 69 名 確定出席率 93.24 %

ゲストスピーチ

エ ネ ル ギ ー に つ い て

東北電力株式会社鶴岡営業所長 菅 原 和 雄 氏



御先輩の前でお話し辛い面もありますが、石油を中心としたエネルギーについて、物の考え方についてお話し致します。

世界のエネルギーはどうなっているかと申しますと、石油・天然ガス・石炭・原子力が主で、原子力は色々な方法がありますが、現在のシステムではこれ位であります。開発が進んで今の原子力でなく、別の利用法—高速増殖炉を使うと、エネルギーの量は70～80倍位になる。

石油は、終戦後自由世界の経済成長をする為のエネルギー戦略として、当時非常に安かった石油を戦略物資にしようと、米国で決まり、ヨーロッパ・日本でも同調した。

石油は、ソ連・米国にもあるが、殆んどが大体中東に埋蔵されている。

石炭は、ソ連・中国に相当ある。

中東では、石油は1945年(終戦後)から非常に多くの資源が発見された。石油の生産量は、1945年～1950年頃から経済復興の戦略物資として多く使われている。しかも、液体燃料であるから石炭に比べると使い易い。しかも価格が非常に安いという面からも非常に使用された。しかし、1970年以降になると生産量よりも発見量が少なくなってきた。従って、石油が有限であるという認識が出てきた。

ここで、1960年頃石油1バーレル御存知のように159ℓであるが、1ドルから2ドルであった。ところが、世界で一番多く使う米国が、自分の国だけで間に合わせようと輸入制限をするようになった。そ

こで中東の油がダブついて、値段が下降状態になってきた。それではいけないとオペックが出来た。現在オペックは13ヶ国であるが、中東が大部分である。ベネズエラ・エクアドル、アフリカの中にもチュニジア・アルジェリア・ナイジェリア・バボンもオペックに入っている。インドネシアもオペックの中に入っている。

オペックの生産能力でグンを抜いて高いのがサウジアラビアである。イランもそれに次ぐものであった。オペックの生産能力は1日当り3,200万バーレル。この1/3がサウジアラビアである。これを制限しようと各国の希望量を出したところ2,300万バーレル位で、これではダブつくので、1,750万バーレルに押さえることにしている。

昨年度の世界の消費量は米国が1位で1日1,500万バーレル、2位がソ連で900万バーレル、3位日本438万バーレル、西ドイツ、フランス、イタリア中国、カナダと続いている。

生産量の一番多いのはソ連で1,200万バーレル、米国・サウジアラビア・メキシコ・イラン・英国(200万バーレル)、従って石油輸出国はソ連・中国・英国であり、サウジアラビアである。

相対的に申し上げますと、世界の石油状況をかえる力をもっているのは米国・ソ連・サウジアラビアである。即ち、世界の石油の調整をかえる力を持っている。

石油価格は、1973年第4次中東戦争後4倍に上がり、1979年イラン革命後34ドル、ものによっては40ドルになっている。こういうふうな値上りも、今年3月、34ドルから29ドルに値下げをした。イラン革命を契機として、世界の石油調整は非常に変化した。

庄内空港の建設を推進しましょう

今迄サウジアラビアとイランは対立していたが、最後には合意に達して石油価格が決った。それがイラン革命後は調整がつかなくなった。その他石油に関するメジャー（モビル等）の影響力がなくなったからである。

1979年を契機として石油の生産量、即ちオペックの生産量が減った。3,200万バレルが希望量なのに、1982年には1,800万バレルになっているからオペックにとっては重大である。

自由世界では、オペック以外の所から20%、経済不況から20%節約、省エネルギーで20%、代替エネルギーで14%、ソ連から買ったり、備蓄から放出している。

日本の状況は、石油に頼っていた昭和47年以降（第1次オイルショック）32,000万Kから昭和57年は24,000万Kに落ち込んでいる。それに代るものは石炭・LMG・原子力等である。

当社としては、石油を減らして、その代りガス・原子力を中心に電源の多様化、エネルギーの多様化を計画している。

## 会長報告

内山喜一君



8月2日新会員に推薦された山形スバル代表取締役・布施隆夫さんを御紹介致します。所属は親睦委員会です。速やかに力強い戦力となられる事を望みます。

## ロータリー用語便覧(4)



Four Avenues of  
フォー アヴェニューズ オブ  
Rotary Service  
ロータリー サービス  
ロータリー奉仕の四大部門

クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕および国際奉仕がこれである。この4大奉仕部門はロータリーの綱領に示されている理念を具現する部門で、これに対応してクラブの委員会が構成されている。

### The Four-Way Test

ザ フォー ウエイ テスト  
四つのテスト

H・テラー（1954～55年度R.I.会長）が考え

## 幹事報告

齋藤隆君

1. 会報到着  
山形R.C. 山形西R.C. 鶴岡西R.C.
2. 第262地区伊豆東R.C.認証状伝達式の案内  
日時 11月3日  
会場 稲取温泉 銀水荘  
登録料 12,000円
3. 「ポール・ハリスー偉大なる奉仕の先覚者」日本語版が刊行 一部6,200円 申込事務局まで
4. 交換学生の新穂恵さんが今月20日、ニューブランズウィック市に無事到着

## 米山奨学会委員会

中野清吾君

先週頂いたお金15,660円有難うございました。

## スマイル

- 佐藤元伸君 山形県学童水泳大会で2人のお子さんが第1位、第2位に入賞して
- 佐々木喆彦君 お盆に感謝して
- 齋藤隆君 市民総体軟式庭球で優勝して
- 松田士郎君 斎藤隆君のパートナーとして

## ビジター

- 鶴岡西R.C. 桜井晋君  
佐藤 拡君

(今週の担当者 菅原辰吉)

出した自己反省の一つの方式である。テラーがある破産に類した会社の再建を引き受けた時、この方式を発案して経営の指針として見事に再建に成功した。国際ロータリーはこの自己反省方式を高く評価して、ロータリーにおける奉仕活動の指針として採用した。その4つの項目は1つ1つを目標とするのではなく、4つをからみ合わせて、それらの項目が調和しているかどうかを反省するのである。よってWayが単数になっており、Waysと複数になってはならないことに注意されたい。4つのテストは、

(言行はこれに照らしてから)

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか